

調査名 学校教員のキャリアと生活に関する調査, 2018

寄託者(寄託時) 独立行政法人国立女性教育会館

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認ください。

独立行政法人国立女性教育会館

※Q 1は、すべての方への質問

Q 1 あなたの現在の職名をお答えください。

- | | | | | |
|-------|------------|-------|---------|---------|
| 1. 校長 | 2. 副校長 | 3. 教頭 | 4. 主幹教諭 | 5. 指導教諭 |
| 6. 教諭 | 7. その他 () | | | |

※Q 2は、校長先生のみへの質問

校長先生にうかがいます。

Q 2 はじめに、あなたの学校の基礎情報をお教えてください。

数字は半角で入力してください。また、該当者がいない場合は「0」と入力してください。

本調査の対象は、本務教員です（養護教諭、栄養教諭、助教諭、講師、休職者は除く）。あなたの学校で調査の対象となる教員は何人ですか。	男性 () 人	女性 () 人
そのうち、教員経験年数が現在 5 年未満の方は何人ですか。	男性 () 人	女性 () 人
そのうち、教員経験年数が現在 20 年以上の方は何人ですか。	男性 () 人	女性 () 人
今年度に、育児休業を取得した（する）方は何人いますか。 いる場合には、おおよその取得期間を入力してください（複数名いる場合はそれぞれ）。	男性 () 人 取得期間 () 日 () 日 () 日	女性 () 人 取得期間 () 日 () 日 () 日
今年度に、介護休業を取得した（する）方は何人いますか。	男性 () 人	女性 () 人
現在、総児童生徒数は何人ですか。	男子 () 人	女子 () 人
そのうち、就学援助を受けている（要保護及び準要保護）児童生徒は何人ですか。	男子 () 人	女子 () 人

※Q3～5は、すべての方への質問

仕事や職場環境にかかわるあなたのお考えについてうかがいます。

Q3 現在の仕事について、次のそれぞれの項目はどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる どちらかというと	あてはまらない どちらかというと	あてはまらない
1. 仕事にやりがいを感じる				
2. 仕事が自分自身の成長につながっている				
3. 自分は児童生徒や学校のために貢献している				
4. 自分の持っている能力を十分に発揮できている				
5. 仕事に見合った収入が得られている				
6. 児童生徒との関係は良好である				
7. 保護者との関係は良好である				
8. 地域との関係は良好である				
9. 平日の労働時間が長い				
10. 土日祝日の仕事にかかわる拘束が多い				
11. 慢性的に疲れを感じる				
12. 仕事よりも、仕事以外の時間を大切にしたい				
13. できれば教員以外の仕事に転職したい				
14. 全体としてみれば、現在の仕事に満足している				

Q4 現在のあなたの職場環境について、次のそれぞれの項目はどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる どちらかというと	あてはまらない どちらかというと	あてはまらない
1. 仕事上の悩みを相談・共有できる雰囲気がある				
2. 児童生徒や保護者等とのトラブルを相談・共有できる雰囲気がある				
3. プライベートの悩みや課題を相談できる雰囲気がある				
4. 教員としての資質向上について助言をくれる同性の先輩・上司が職場にいる				
5. 教員としての資質向上について助言をくれる異性の先輩・上司が職場にいる				
6. 教員としての資質向上について学び合える同性の仲間が職場にいる				

7. 教員としての資質向上について学び合える異性の仲間が職場にいる				
8. 仕事に必要な校外での研修に積極的に参加できる雰囲気がある				
9. 家庭の事情による休暇を取得しやすい雰囲気がある				
10. 私生活よりも学校や児童生徒のことを優先することが期待されている				
11. 男性のほうが研修を受ける機会が多い				
12. 男性のほうが昇進・昇級の機会を与えられている				
13. 男性のほうが高く評価される				
14. 育児や介護等の家庭の事情がある教員は低く評価される				
15. 長時間働く教員のほうが高く評価される				
16. 担任が産休・育休を取得すると、不安になる児童生徒や保護者が多い				
17. 保護者は男性教員が子供の担任になることを望んでいる				

Q5 学校や教育委員会が取り組むこととして、次のそれぞれの項目はどの程度重要だと思いますか。

	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない
1. 児童生徒のために使う時間の確保				
2. 教員の労働時間の削減				
3. 部活動・クラブ活動にかかわる改革				
4. 学校行事の削減				
5. 校務の ICT 化				
6. 授業・教材作成の ICT 化				
7. テレワーク*の導入・推進 (*ICTの活用により情報セキュリティが確保された環境での自宅業務が可能になるシステム)				
8. 学外の人材を活用した児童生徒への個別対応の推進				
9. 母国語が日本語でない児童生徒への配慮				
10. 児童生徒の性的指向・性自認にかかわる配慮				
11. 経済的に困難な家庭環境にある児童生徒への配慮				
12. 理数系好きの女子児童生徒を増やすための取組				
13. 女性の管理職を増やすための取組				
14. 男性教員の育児休業を取得しやすくするための取組				

**※Q 6～9は、管理職（校長、副校長、教頭）以外の方への質問（以下、青字の間）
管理職にかかわるお考えについてうかがいます。**

Q 6 あなたは将来、管理職になりたいと思いますか。

1. ぜひになりたい
2. できればになりたい
3. あまりなりたくない
4. 絶対になりたくない

Q 7は、Q 6で「1. ぜひになりたい」「2. できればになりたい」と答えた方への質問

**Q 7 「ぜひになりたい」または「できればになりたい」理由は何ですか。あてはまるものをすべて
選んでください。**

1. やりがいのある仕事ができる
2. 学校経営に関心がある
3. 自分にはその力量がある
4. 目標となる同性の管理職がいる
5. 目標となる異性の管理職がいる
6. これまでの経験や処遇からすると、そうなるのが自然のなりゆきである
7. 学校や地域、社会にもっと貢献したい
8. 社会的な地位・信用が得られる
9. 所属長の薦めを受けている
10. 同性の仲間から期待されている
11. 異性の仲間から期待されている
12. 同性の先輩・上司から期待されている
13. 異性の先輩・上司から期待されている
14. 配偶者から期待されている
15. 親から期待されている
16. その他()

Q 8は、Q 6で「3. あまりなりたくない」「4. 絶対になりたくない」と答えた方への質問

**Q 8 「あまりなりたくない」「絶対になりたくない」理由は何ですか。あてはまるものをすべて
選んでください。**

1. 現在の仕事に満足している
2. 学校経営に関心がない
3. 管理職の仕事に関心がない
4. 担任を持って子どもと接していきたい
5. 自分にはその力量がない
6. 同性の管理職が少ない
7. 目標にしたい管理職がない

8. 労働時間が長い
9. 労働時間が増えると、自分の家庭の育児や介護等との両立が難しい
10. 責任が重くなると、自分の家庭の育児や介護等との両立が難しい
11. 同性の仲間から期待されていない
12. 異性の仲間から期待されていない
13. 同性の先輩・上司から期待されていない
14. 異性の先輩・上司から期待されていない
15. 管理職からの薦めがない
16. 配偶者の理解・同意がない
17. その他()

Q 9 あなたは、将来、管理職になる可能性はどの程度あると思いますか？

1. かなりある
2. どちらかというところ
3. あまりない
4. 全くない

**※Q 10～12は、管理職（校長、副校長、教頭）の方への質問（以下、緑字の間）
管理職にかかわるお考えについてうかがいます。**

Q 10 あなたが管理職になったのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. やりがいのある仕事ができると思ったから
2. 学校経営に関心があったから
3. 自分にはその力量があると思ったから
4. 目標となる同性の管理職がいたから
5. 目標となる異性の管理職がいたから
6. これまでの経験や処遇からすると、そうなるのが自然のなりゆきであったから
7. 地域や社会にもっと貢献したいと思ったから
8. 社会的な地位・信用が得られるから
9. 所属長の薦めを受けたから
10. 同性の仲間から期待されていたから
11. 異性の仲間から期待されていたから
12. 同性の先輩・上司から薦めを受けたから
13. 異性の先輩・上司から薦めを受けたから
14. 配偶者から期待されていたから
15. 親から期待されていたから
16. その他()

Q 1 1 あなたは管理職になってよかったですか。 あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。

1. とてもよかった
2. どちらかというよよかった
3. どちらかというよよくなかった
4. 全くよくなかった

Q 1 2 貴校の教員に対するあなたの姿勢・態度について、次のそれぞれの項目はどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる どちらかというよ	あてはまらない どちらかというよ	あてはまらない
1. 女性の管理職が増えるように考慮している				
2. 育児や介護等の家庭の負担を担っている女性教員には、管理職になるための試験の受験や研修等を勧めにくい				
3. 育児や介護等の家庭の負担を担っている男性教員には、管理職になるための試験の受験や研修等を勧めにくい				
4. 子どもが生まれる男性教員には、育児休業の取得を勧めている（勧めるつもりである）				

※Q 1 3～3 4は、すべての方への質問（Q 1 7－2のみ管理職の方への質問）

Q 1 3 一般に、校長にはどのような能力が必要だと思いますか？ 次のうち特に必要だと思うものをいくつでも選んでください。

1. 統制・率先力（先頭に立ってまとめる力）
2. 判断・決断力（課題を整理して対応方法を選択する力）
3. 交渉・調整力（相手を説得して合意形成に導く力）
4. 危機管理力（不測の事態に対処する、または備える力）
5. 実行力（行動し成し遂げる力）
6. 共有力・協働性（関係者と共に課題に対処する力）
7. 共感力（相手の気持ちを理解し寄り添う力）
8. 先見性（先を見据えて課題に対応する力）
9. 創造力（新たな発想で課題に対応する力）
10. 柔軟性（個々の状況に応じて課題に対応する力）
11. 地域資源活用力（学外の人や組織等を活用する力）
12. ICT活用力（学級・学校運営にICTを取り入れ活用する力）
13. その他（ ）

Q 1 4 男女共同参画にかかわる次のそれぞれの項目について、あなたはどのようにお考えですか。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである				
2. 子供が小さいうちは、できれば妻が家にいるほうがよい				
3. 女性は、子供ができて、ずっと職業を続けるほうがよい				
4. 男性も家事・育児を行うことは、当然である				
5. 家事・育児は女性のほうが向いている				
6. 男性のほうが女性より管理職に向いている				
7. 自分の勤務校の校長は、男性のほうがよい				
8. 理数系の教科は、男子児童生徒のほうが能力が高い				

ご回答を統計的に分析するために、失礼ですが、あなた自身のことや勤務の状況についてうかがいます。

Q 1 5 あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

Q 1 6 あなたの年齢をお答えください（平成 30 年 4 月 1 日現在）。

（ ） 歳

Q 1 7 現在の学校での勤務年数をお答えください（今年度を含めて）。

（ ） 年目

Q 1 7-2 **管理職（校長、副校長、教頭）の方への質問**

あなたは管理職になって何年目ですか（今年度を含めて）。

（ ） 年目

Q 1 8 あなたは学級担任をしていますか。

1. 通常学級の担任をしている
2. 通常学級の副担任をしている
3. 特別支援学級の担任をしている
4. 複式学級の担任をしている
5. 担任も副担任もしていない

Q 1 9 あなたは部活動の顧問をしていますか。

1. 運動部の顧問をしている
2. 文化部の顧問をしている
3. 運動部と文化部の顧問を兼任している
4. 顧問はしていない
5. 学校に部活動はない

Q 2 0 あなたの平均的な出勤時刻（学校到着時刻）は何時ですか。

1. 6時より前
2. 6時台
3. 7時台
4. 8時台
5. 9時以降

Q 2 1 あなたの平均的な退勤時刻は何時ですか。

1. 17時より前
2. 17時台
3. 18時台
4. 19時台
5. 20時台
6. 21時台
7. 22時台
8. 23時以降

Q 2 2 あなたの平均的な1日の在職場時間は何時間ですか。

1. 8時間未満
2. 8時間以上 10時間未満
3. 10時間以上 12時間未満
4. 12時間以上 14時間未満
5. 14時間以上 16時間未満
6. 16時間以上

Q 2 3 あなたが持ち帰って自宅で行っている労働時間（添削等）は、平均的な平日1日で何時間くらいですか。

1. ほとんどない
2. 1時間未満
3. 1時間以上 2時間未満
4. 2時間以上 3時間未満
5. 3時間以上 4時間未満
6. 4時間以上

Q 2 4 あなたは、平均すると、月にどの程度、休日に学校の仕事のために外出していますか（部活動、試合や大会の引率、地域行事の参加等）。

1. ほとんどない
2. 月に1～2回
3. 月に3～4回
4. 月に5～6回
5. ほぼ全部の土日・祝日

Q 2 5 あなたは配偶者がいますか（事実婚を含みます）。

1. いる
2. いない

Q 2 6は、Q 2 5 で「1. いる」を選択した方への質問

Q 2 6 配偶者の就労状況および就労形態について、次のうちあてはまるものを選んでください。

1. 無職
2. 正規雇用者
3. 契約社員・嘱託
4. 派遣社員
5. パート・アルバイト
6. 自営・家族従業・自由業
7. その他()

Q 2 7 あなたは現在、家事・育児・介護等、あなたのご家庭の役割をどの程度担っていますか。
(家庭に必要な総労力を 100%として) 次のうち、あてはまるものを 1 つだけ選んでください。

1. ほとんどあなたがしている (90~100%程度)
2. 半分以上はあなたがしている (60~80%程度)
3. ほぼ半分あなたがしている (50%程度)
4. 半分以下だがあなたもしている (20~40%程度)
5. あなたはほとんどしていない (0~10%程度)

Q 2 8 あなたにはお子さんがいますか。

1. いる
2. いない

Q 2 9 は、Q 2 8 で「1. いる」を選択した方への質問

Q 2 9 お子さんの数は何人ですか。

() 人

Q 3 0 は、Q 2 8 で「1. いる」を選択した方への質問

Q 3 0 一番下のお子さんは何歳ですか。

() 歳

Q 3 1 は、Q 3 0 で、13 歳以上と答えた方への質問

Q 3 1 あなたは、お子さんが未就学児~小学生の頃、家事・育児をどの程度担っていましたか。
(家庭に必要な総労力を 100%として) 次のうち、あてはまるものを 1 つだけ選んでください。

1. ほとんどあなたがした (90~100%程度)
2. 半分以上はあなたがした (60~80%程度)
3. ほぼ半分あなたがした (50%程度)
4. 半分以下だがあなたもした (20~40%程度)
5. あなたはほとんどしていない (0~10%程度)

Q 3 2 は、Q 2 8 で「1. いる」を選択した方への質問

Q 3 2 お子さんが未就学児~小学生の方 (頃) は、家事・育児を担っている (いた) のは、あなた以外では、主にどなたですか。次のうち、あてはまるものを 1 つだけ選んでください。

1. 配偶者
2. あなたの母親
3. あなたの父親
4. 配偶者の母親
5. 配偶者の父親
6. あなた以外にはいない
7. その他()

